

別府市の「梶原和裁」（梶原信義代表）で働く吉岡祐美子さん(31)＝大分市＝が、第24回技能グランプリ（3月2－5日、千葉市）の和裁職種で2位に入賞した。吉岡さんは3回連続3度目の出場で、前回の3位を超える快挙。「これからも高い技術で後輩を引っ張って行ってほしい」と梶原さん。

技能グランプリ



別府の梶原和裁 吉岡祐美子さん

大会は、中央職業能力開発協会と全国技能士会連合会が、特級や一級の製作、園芸装飾など三十

資格を持つ技能士を対象に開く。競技は表具や畳

吉岡さんは、十年前から同社の梶原多香子さん

職種あり、今回は合わせて過去最多の四百六十二人が、技能の高さを競った。県内からは六人が出場し、入賞者は吉岡さん一人。

表彰状
和裁職種
第二位
吉岡 祐美子 殿
あなたは第三十四回技能グランプリにおいて、平素練習された技能を十分に発揮し、頭書の成績を収められました。
よってここに表彰します。
平成十九年 三月 五日
中央職業能力開発協会
会長 三好 隆志
技能士会連合会
会長 石岡 慎太郎

和裁の部で「銀」

3回連続
で 出場

「プロの自信ついた」

前回の3位を上回る2位入賞を果たした吉岡さん

に師事して腕を磨いた。一級技能士の資格は、〇一年に取得。多香子さんは「プロ意識が高く、人の何十倍も努力を積み重ねてきた」とねぎらう。和裁の部では、四十二人がハイレベルの戦い。張り詰めた独特の雰囲気の中、二日間（九時間）で訪問着を仕立てた。「前回よりいい結果を出さなければ」とプレッシャーもあり、とても緊張した」と吉岡さん。布選びなど、下準備にも苦労したという。

優勝を狙えただけに「うれしさよりも悔しかった」と吉岡さん。それでも連続の入賞に「和裁師としての自信になった。これからも、信用を裏切らない仕事をしていきたい」と話していた。